

簡単なメンテナンス

レベルゲージにオイルが付かない場合

クラックケース右側にあるオイルチェックボルト、シーリングワッシャを取外します。

チェックボルト穴からオイルが流出する場合

- ・チェックボルト、シーリングワッシャを取付け、

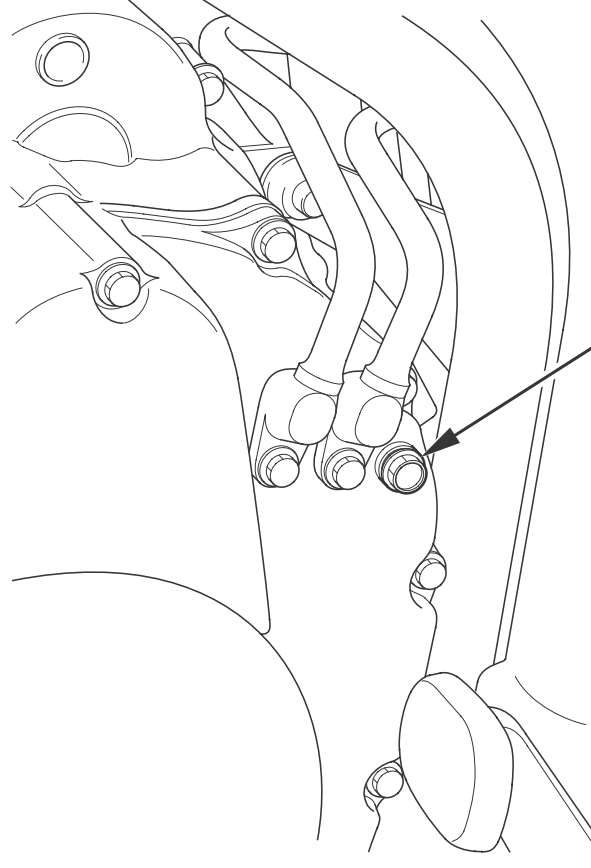
71 ページ記載の要領でオイル量の点検を行います。

オイルが流出しない場合

- ・チェックボルト、シーリングワッシャを取付けます。

エンジンを始動せずに、オイルレベルゲージを外し、上限までオイルを補給します。オイルレベルゲージを取付け、71 ページ記載の要領で再度エンジンオイル量を点検します。

エンジンを始動する前に、こぼれたオイルは完全に拭き取ってください。



オイルチェックボルト